

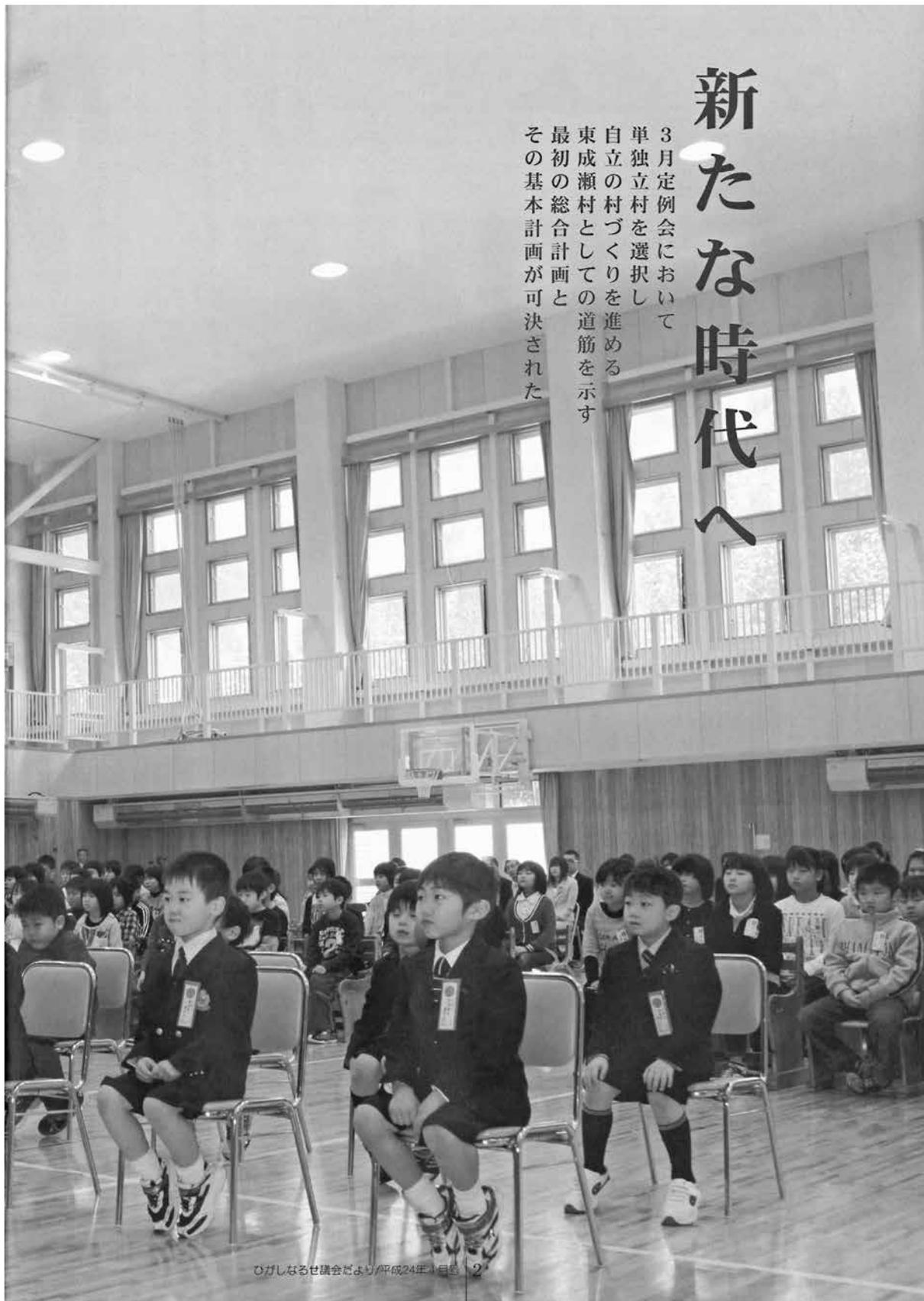


ながよく  
しょうね!

4/6 新入児を迎える会 なるせっ子夢センター

# 新たな時代へ

3月定例会において  
単独立村を選択し  
自立の村づくりを進める  
東成瀬村としての道筋を示す  
最初の総合計画と  
その基本計画が可決された



# 未来への羅針盤

## 第4次東成瀬村総合計画 基本構想

東成瀬村総合計画は、村政運営の最上位計画で、計画的に村づくりを進める上での根幹となる計画です。まちづくりの基本理念の実現に向けた大綱を示す「基本構想」、これに基づき実現するための体系や主要な実施事業を明らかにする「基本計画」と前期・中期・後期に期間を区切り、具体的な事業計画となる「実施計画」で構成されています。期間は、平成23年度から平成32年度まで。

### 基本目標

人と環境にやさしい 協働の村づくり

### 基本理念

新たな時代に向け 心に響く村政をめざして

### 5つの柱

- 1 豊かな自然を活用した特色ある産業づくり
- 2 安全で安心して暮らしやすい環境づくり
- 3 みんなで学び育む時代を担う人づくり
- 4 生きがいを持ち共に支え合う地域づくり
- 5 人にやさしく住みよい基盤づくり

4月5日 東成瀬小学校入学式  
次代を担う、18名の小学生が誕生しました

# 平成24年度当初予算を可決

## 一般会計は29億4,500万円

3月定例会は9日から15日までの7日間の会期で開催された。平成24年度一般会計予算など41議案は、すべて全会一致で原案のとおり可決された。  
また、一般質問は2議員が登壇し村政を質し、陳情5件を採択とした。

### ハード事業からソフト事業へ 人材・起業を育成

総合計画（基本構想）が実質的にスタートする平成24年度一般会計当初予算は29億4千500万となり前年度に対し、1億7千500万円（▲5・6%）の減額となった。  
歳入で最も大きな財源の地方交付税は15億3千万、村債は3億5千550万円で前年度に対し、それぞれ1千万、2億2千880万円の減となっている。

村債の内訳は、臨時財政対策債（赤字地方債）と借換債（無利子へ借換）で2億1千910万円となっており、施設建設といったハード事業が減少している。  
歳出は、病後児保育事業、内視鏡検査助成、水耕栽培事業、農産物の販売取組に対する助成のほか、修学旅行の個人負担2分の1助成や村単英語補助教員の配置などの予算が新たに計上されており、人材や起業を側面的に支援するソフト事業に重点が置かれている。

### 指定管理料1,220万円

#### 第三セクターへ

少子高齢化、相次ぐ震災や経済情勢の低迷により、ジュネス栗駒スキー場の経営不振が続いており、管理運営を行う第三セクター（秋田栗駒リゾート）に対し、夏の管理相当分となる指定管理料が設立後初めて計上された。

### 平成24年度 当初予算

一般会計予算	29億4,500万円
国民健康保険特別会計(事業勘定)予算	3億1,735万円
国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)予算	9,351万円
老人保健特別会計予算	11万5千円
後期高齢者医療特別会計予算	2,609万3千円
介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	2億5,733万3千円
介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)予算	2億9,860万5千円
簡易水道事業特別会計予算	5億5,667万9千円
下水道事業特別会計予算	1億2,181万8千円



厳しい経営環境が続くジュネス栗駒スキー場

## 平成24年度 主要事業

公有林整備事業	3千719万円
奨学資金貸付金	2千514万円
地域活性化資金貸付金	1億円
物産振興資金貸付金	600万円
生活バス路線等維持費補助金	400万円
地域づくり活動推進事業補助金	500万円
樺川テレビ共同受信施設改修事業補助金	764万円
光放送システム構築準備基金積立金	1,200万円
地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金事業	513万円
少子化対策事業費	924万円
生ゴミ堆肥化推進事業	964万円
新規雇用奨励金	924万円
まることなるせ農産物生産支援事業助成金	440万円
農業夢プラン事業補助金	300万円
水耕栽培事業	378万円
新生産基盤整備事業	2,894万円
農産物加工施設活用事業	1,110万円
中山間地域等直接支払交付金事業	3,474万円
団体営土地改良事業	2,208万円
森林整備地域活動支援交付金事業	900万円
新規起業等育成支援金	3,500万円
観光施設改修工事	6,310万円
村道改良事業	8,950万円
長寿命化修繕計画策定業務委託	900万円
橋りょう補修事業	4,300万円
冬期交通対策建設機械購入	4,100万円
住宅リフォーム等促進事業補助金	300万円
小型動力ポンプ積載車	556万円
ポンプ小屋解体撤去新設工事	474万円
A L T (英語補助教員) 配置事業	332万円
スキー場利用助成	444万円
レントゲン機器整備	1,200万円
統合簡易水道事業	5億182万円
特定生活排水処理事業(下水道)	4,107万円

※300万円以上を抜粋



生きた英語で将来を先取り

ひがしなるせ議会だより/平成24年4月号 | 5

## 定員を2000人に

### 東成瀬村消防団

消防団組織法の改正に伴い、村消防団の定員や任免、服務規律と懲戒、給与の三条例を一つにまとめた条例が制定された。定員を現行の220人から200人に改めた。現状は180人の団員数となっており、団員の減少を食い止めることが課題となっている。

また、遭難捜索救助隊設置も条例で定めた。報酬はいずれも据え置きとしている。

### ■消防団の報酬

階	級	年 額
団	長	28,000円
副	団 長	22,000円
分	団 長	16,000円
副	分 団 長	15,000円
部	長	14,000円
班	長	13,000円
団	員	10,000円

### ■遭難捜索救助隊 救助手当(日額)

遭 難 者	金 額	
	夏 期	冬 期
	5~10月	11~4月
村 外 者	20,000円	24,000円
村 内 者	3,000円	3,000円

- ・4時間未満は日額の1/2の額。
- ・早朝など特殊事情の出動は割増が可能。
- ・宿泊費・食事・交通費は実費。

## 村単独で配置へ

### 英語補助教員

国際化の進展に伴い、英語教育の重要性が増しており、湯沢市と共同で配置していたA L T (英語補助教員) を平成24年8月から村単独で配置するため、報酬月額を定めるなど、所要の条例改正を行った。

報酬区分 招致外国青年  
報酬月額 30万円

# な 疑 主 質

定例会2日目の13日と最終日となる15日、議案に対する質疑に行われました。主な質疑を要約してお伝えします。

## 岩井川地区防災センター 設置条例を制定

### 単行議案

#### 総合計画基本構想

**質問** 施策の方向で農業振興は「取り組めます」と力強く表現しているが、その他には、そうした表現が少ないが、やらないと受け取れる可能性がないか。  
**答弁** 用語の統一性に欠ける部分はあるかもしれないが、全体的に今期間中に積極的に取り組んでいくという姿勢と捉えてほしい。

#### 岩井川地区防災センター 設置条例

**質問** 条例の名称に「地区」と付けたのは他の地区でも建設する意図があるか。  
**答弁** 当初から岩井川に限定しており、地区を付けた他の地区でも防災の拠点となる施設整備は必要だが、既存の施設でもその役割をする認識していただきたい。



岩井川地区防災センター（旧こぼと保育園）

#### 消防団員の定数改正関連

**質問** 定員を2000名にする根拠は。  
**答弁** 現在数は180名だが、消防団員の確保を目指す観点から200名とした。  
**質問** 団長、副団長の報酬年額が低すぎるのではないか。  
**答弁** 指摘のとおり、検討の余地がある。

#### 遭難捜索隊設置条例

**質問** 女性団員の検討は。  
**答弁** 現在はないが、後方支援という形で役割を担うなど検討の余地がある。  
**質問** 村内の方の遭難に1日3千円は低いのでは。  
**答弁** 平成16年に消防費の出場手当相当額を支給するとの確認に基づいている。検討する。

## 一般会計は 762万1千円の 追加

### 一般会計補正予算

**質問** 非常備消防費の消防団安全対策備品の配備先は。  
**答弁** 分団単位に配備する。  
**質問** 村有林売払収入のほぼ全額減の理由は。  
**答弁** 伐採売却から立木売却に変更したことによる減額となっている。  
**質問** 肉用子牛価格安定基

金出資金が返還されるのは。  
**答弁** 24年度以降、補助金で対応することで組合と協議し、返還するものである。

**質問** 女性起業家高度化支援事業補助金と内容は。  
**答弁** 秋田県が行っている農業かつ新ビジネス展開支援事業の補助に対し村でも支援するもの。直売、加工グループ等のレベルアップに係る経費に対する補助となっている。

**質問** 許可水利権獲得調査とは。  
**答弁** 伊達堰関係で着沢地区の河川敷と伊達堰を整備するためには許可水利権を必要とし、その調査費となっている。

**質問** 住宅リフォーム補助金の大幅減は、需要がなかったことか。  
**答弁** 土木費以外のリフォーム補助もあり、どちらが有利か相談しながら行った結果で実績は6件となっている。

## 3月定例会議決事項名

東成瀬村総合計画基本構想及び基本計画の策定について
東成瀬村岩井川地区防災センター設置条例
東成瀬村岩井川コミュニティ広場設置条例
東成瀬村消防団員の定数・任免・給与・服務に関する条例
東成瀬村遭難捜索救助隊設置条例
東成瀬村暴力団排除条例
東成瀬村消防団の設置に関する条例の一部を改正する条例
職員の育児休業等に関する条例
一般職の職員の給与に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
東成瀬村税条例の一部を改正する条例
東成瀬村介護保険条例の一部を改正する条例
東成瀬村道路線の認定
平成23年度村営土地区改良事業（伊達塚地区基盤整備促進事業）分担金の徴収
平成23年度東成瀬村一般会計補正予算（第9号）
平成23年度東成瀬村国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）
平成23年度東成瀬村国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）補正予算（第5号）
平成23年度東成瀬村後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
平成23年度東成瀬村介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）
平成23年度東成瀬村介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第3号）
平成23年度東成瀬村簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
平成23年度東成瀬村下水道事業特別会計補正予算（第2号）
平成24年度東成瀬村一般会計予算
平成24年度東成瀬村国民健康保険特別会計（事業勘定）予算
平成24年度東成瀬村国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）予算
平成24年度東成瀬村老人保健特別会計予算
平成24年度東成瀬村後期高齢者医療特別会計予算
平成24年度東成瀬村介護保険特別会計（保険事業勘定）予算
平成24年度東成瀬村介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算
平成24年度東成瀬村簡易水道事業特別会計予算
平成24年度東成瀬村下水道事業特別会計予算
平成24年度東成瀬村介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）への繰入れ
平成24年度東成瀬村簡易水道事業特別会計への繰入れ
平成24年度東成瀬村下水道事業特別会計への繰入れ
指定管理者の指定 ※東成瀬村ミニライセンターの管理を滝ノ沢ファームへ委託する。
指定管理者の指定 ※東成瀬村ひる里館の管理を村商工会へ委託する。

## 請願・陳情

3月定例会には5件の陳情提出され、それぞれの常任委員会に付託し、審査の結果、5件を採択すべきものとした。要請に基づき、5件について意見書を提出することに決定した。

○子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書提出を求める陳情  
（陳情者）日本自治体労働組合連合会  
秋田県本部  
中央執行委員長 星野 博之

○最低賃金の大幅引き上げと、中小零細企業支援の拡充を求める陳情

（陳情者）秋田県春闘共闘懇談会

代表委員 中村 秀也 外1名

○住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実に求める陳情  
（陳情者）秋田県春闘共闘懇談会  
代表委員 中村 秀也 外1名

○公的年金の改善に反対する意見書提出を求める陳情  
（陳情者）全日本年金者組合秋田県本部湯沢雄勝支部  
支部長 鈴木 甚郎

○TPP交渉参加に向けた協議の中止を求める陳情  
（陳情者）農民運動秋田県連合会  
委員長 佐藤 長右衛門

## 2月臨時会

2月23日に臨時会が開催され、平成23年度一般会計補正予算など3件の議案が満場一致で可決されました。

### 契約案件

○特別養護老人ホーム幸寿苑 特  
殊入浴浴槽他

※契約額 669万9千円

相手方 株式会社かんきよう

横手支店

支店長 松橋 均

### 補正予算

○平成23年度東成瀬村一般会計補正予算（第8号）

※雪害対策費 646万円

自立支援給付費 433万円

冬期交通対策費 2千600万円

単行議案  
○地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例  
※地方自治法で規定する議会が議決する事項に東成瀬村総合計画の策定等を加える改正

# 24年度予算を質す

## 総務企画課所管

地域間交流事業とは

**問** 地域間交流事業助成金の内容。

**答** 名取市関上地区との物産販売交流や美しい村連合が開催する行事への参加費用の助成となっている。

事業所は

**問** 新規雇用奨励金の事業所は把握しているか。

**答** 秋田栗駒リゾート、栗駒食彩倶楽部、東仙歩の3事業所となっている。

対象は

**問** 新規企業等育成支援金の対象は。

**答** 平成23年度に起業した株式会社タカヤだが、申請するかしないか分からない。

源泉調査とは

**問** 源泉調査とは新たな温泉水調査か。

**答** 現在の源泉の湧出が不安定であり震災等でのような状況であるか、位置を変えることができるかなどを調査する。

事前に協議すべきでは

**問** スキー場に対する指定管理料として1千220万円が計上されたが、これまでの経緯を踏まえ事前に議会に対する協議・説明が必要でなかったか。

**答** 社会情勢、重なる震災などにより、第三セクター運営の根本に関わる現実問題が浮上しており、状況は、報告してきたが、予算計上には説明が不足していたと思う。今後、事前に十分な

24年度の予算審査は、議長を除く9名の議員で構成する予算特別委員会（委員長・佐々木正夫）を設置し、3月14日に行った。審査の結果、一般会計と特別会計9件の全会計を「可決すべきもの」とした。

協議、相談をしながら予算化を行う。

## 民生課所管

空き家対策

**問** 雑入の空き家保全等委託料とは。

**答** 行政代執行により解体した場合にその経費を所有者へ請求する収入となっている。

利用者が少ないが

**問** 人間ドック等助成金の年齢制限は前年度と同様か、決算状況から利用者が少ないようだが。

**答** 年齢制限は同じ、利用者は横ばいで、呼びかけ等を行う必要がある。

結成の必要は

**問** 自主防災組織補助金は、

組織を結成する必要があるか。

**答** 経費の対象は組織の結成費、資機材購入費、防災訓練を予定しており、自主防災組織育成を目的としている。

事業の内容は

**問** 心の健康づくり事業の内容は。

**答** 自殺予防フォーラム開催、アンケート調査、相談員の家庭訪問を計画している。

据え置き理由

**問** 介護保険料の料率に変化がない要素は。

**答** 新たに施設ができた場合に上がる要素となりますが、今回の試算ではそうした要素がなく、据え置きの保険料とした。



予算特別委員会審査

## 幸 寿 苑

**部 落 と 協 議 し て い る か**

**問** 今年のような大雪の場合など幸寿苑の雪下ろしは部落と協議しているか。

**答** 雪下ろしだけでなく様々なことに部落から協力していただくとの経緯もあり、こうした点を含め協議していく。

**開 所 の 経 緯 と 利 点 は**

**問** 在宅サービス事業所設置の経緯と利点は。

**答** 社会福祉協議会で業務を中止する段階で利用者もあり、そうした施設を有する幸寿苑で行った方が効率よく仕事ができる。

## 農 林 建 設 課 所 管

**問 題 が 指 摘 さ れ て い る が**

**問** 農村交流センターの管理に問題が指摘されている。

**答** 利用に対し、管理上の問題があったようだ。受託している田子内自治会と協

議していく。

**指 定 管 理 料 の 内 訳**

**問** ミニライスセンター指定管理料60万円の内訳は。

**答** 電気や水道の基本料となっている。

**機 械 購 入 の 内 訳 は**

**問** 加工用機械購入の内訳は。

**答** ミニライスセンター関係として、直播栽培用、米の保管庫、米粉製粉用、食味系備品、稲わら収集関係など2千900万円弱。加工業務は調理機器、冷蔵庫、展示ショーケースなど690万円となっている。

**助 成 金 の 内 容**

**問** 農地集積協力助成金とは。

**答** 比較的小規模な農家の方が農業を止め、担い手の方に託す場合に交付されるもので、農地だけでなく主要な農業機械も手放す要件がある。

**給 付 金 の 内 容**

**問** 青年就農給付金とは。

**答** 概ね45歳以下という条件で平成20年度以降に新たに就農した方へ5年以内の年間150万円を上限に営農を支援する。

**事 業 の 内 容 は**

**問** 広葉樹資源フロンティア事業とは。

**答** 県単事業で、ナラ枯れ対策も兼ね、材質を現地で調査する広葉樹林の資源調査経費と高値販売を促進するための経費となっている。

**育 苗 施 設 で 行 う よ う だ が**

**問** 野菜水耕栽培管理業務委託を育苗施設で行うとのことだが、JAとの連携などは。

**答** 育苗施設は春先しか使用しておらず事業実施は了承を得ている。現段階では、JAが農業法人と考えている。

**撤 去 工 事 の 内 訳**

**問** 大柳沼の施設撤去工事の内訳は。

**答** 機械室、炊事棟の撤去で、トイレは使用する際に必要となる取水設備が設置可能か検討し撤去を判断する。当面、レンタルトイレで対応する。

## 教 育 委 員 会 所 管

**電 気 料 の 節 減 は**

**問** 保育園の太陽光システムによる電気料の節減は。

**答** リアルタイムな発電量は分かるが、料金との比較ができない状況であり、今後、請求書の比較などから算出したい。2月分では約2パーセントとなっている。

**事 業 の 内 容 は**

**問** スポーツ交流事業の内訳は。

**答** 東日本大震災による被災者とのスポーツ交流で、受け入れ経費となっている。



佐々木 正利 議員

## 学校給食の安全な食材確保は

### 教育長 関係機関と連携し検査を行い適切に対処する

**質問** 学校給食に今現在、使用する安全な食材をどのような方法で確保し、提供されているか。

**教育長** 学校給食で使用する食材の搬入については、村内外の納入業者に依頼している。食材の安全性については、

秋田県が県内産の農畜産物について、既に安全宣言を行っており、それ以外の他県からの食材などについては、市場に出回っているもので問題視されているものはなく、問題になるような食材が判明した場合は、使用しないことも含め適切な対処をしていく。

#### 村内産の占める割合は

**質問** 東成瀬村産の食材使用状況について、給食全体に占める割合と、どのような食品が使用されているか。

**教育長** 学校給食センターで

平成22年度に使用した食材の総使用料は1万8千158キログラムである。東成瀬村産は主な品目として、米、じゃがいも、ネギ、キャベツなどがあり、使用料は4千12キログラムで、給食全体に占める割合は22パーセントとなっている。

#### 基準値の引き下げに対する体制は

**質問** 食品に含まれる放射性セシウムの基準値が4月1日から食品を4区分し、厳しく引き下げられる改正に伴い、東成瀬村産を含め安全な食材確保について、検査体制など何らかの影響が出てくると思われるが、今後どのように確保し提供していくか伺う。

**教育長** 秋田県教育委員会では検査体制を整備しており、給食用の簡易検査機6台を導入し、

入し、県南地区では仙北地域振興局に設置し、本村においては、4月と5月に2回ずつ割り当てられている。簡易検査で基準値の2分の1以上の数値が検出された場合は、ゲルマニウム半導体検査機によって確定検査をすることになっている。

本村においては、村として加工用トマト、枝豆、原木ナメコ、地下水と水道水、大気中の放射線量などを測定してきたが、問題される状況については、食材の安全性の確保については、今後とも県など関係機関と連携を密にして、適宜検査を行うなど適切に対処していきたい。

#### 防災対策に対する決意は

**質問** 東日本大震災後、岩井川地区防災センターの整備、

各集落への発電機・対流型石油ストーブなどハード面の充実は進みつつあるが、ソフト面の各種訓練が行われていない現状を踏まえての訓練を行う決意と、村民に対してどのような方法で方向性を示し、啓蒙、指導していくか伺う。

**村長** 役場の訓練はしっかり実施していく。村民の訓練については、第一次的には、小さい集落単位に避難訓練し、安否確認する。二次的には、大部落単位で集まっていたら、そして最終的には避難所に完全に避難できる体制を今後組織作りと併せて、地域の方々との協議をして、まとめたい必要がある。

方向性については、春の部落長行政協力員会議で提示し、それに沿って自主防災組織を立ち上げていただきたい。同時にリーダーを推薦していた

だけ、リーダーの下自主防災組織が結成され、活動する段取りと考えている。研修・講習会等を開催し、組織化ができて、リーダーも育ち、集落ごと防災訓練等が一つの形として出来上がっていくと思つ

(文責は質問議員)



鶴飼教育長

佐々木 健 夫 議員

## 新年度予算重点施策は

### 村長 過疎債対象ソフト事業が主体

**質問** 新年度予算の中で、産業振興など所得の向上を目指した重点施策を伺う。

**村長** まるごとなるせ生産物支援事業、水耕栽培や新規起業育成、新規雇用奨励事業など過疎債対象のソフト事業を主体に取り込んでいる。

新規起業育成事業は3年間の継続事業で、1年目2千万円、2年目1千万円、3年目500万円の助成金になる。今のところ株主6名の1起業が申請するようだ。

新規雇用奨励事業は、1ヶ月高卒10万円、短大卒12万円、大卒15万円を3年間補助する制度である。

赤へこ事業の進展を伺う

**質問** 計画では平成24年度に草地、畜舎等の測量を行うことになっているが、どのよう

に進展しているか。

**村長** 県が国に事業要望をしている段階であり、具体的なメニュー、採択等については現段階では承知していない。採択されれば国から県に事業交付金が交付され県から村に配分されることになり、決定後に補正予算で対応することになる。

村のエネルギービジョン実施事業の検討は

**質問** 平成13年に村のエネルギービジョンを策定したが、

以後事業の検討をしたか。

**村長** 新エネルギー事業は、事業実施段階では財源等いろいろなハードルが出てくると思うが、今後大きな流れになっていくことが間違いのないところであり、今後検討して具

体化できるものから取り組んでいきたい。

**質問** ふる里館前の水車発電の電力量と中止の理由を伺う

**村長** 伊達堰の流木、枯葉などが水車に引っかかり水車の軸受けが損傷して機能が果たせなくなり、中止せざるを得なかった。水路で発電をするには流物の除去や流物がこない別の水路を作るとかいろいろ検討する必要があるように思う。発電量は約88ワットで

あった。

生ゴミ堆肥の実績は

**質問** 生ゴミ処理による堆肥化(ペレット)事業を3年間やったが実績を伺う。

**村長** 生ゴミ処理による肥料製造は、平成21年度80戸から生ゴミ22トン収集し肥料生産4・2トン、23年度は220戸から生ゴミ48トン、肥料は12トンになり、生ゴミ減量に寄与している。この事業による雇用は4名であり、23年度までの3年間は補助事業であったが、24年度からは村単独事業で4名を継続雇用していく。

今後のライスセンター建設はやはり村内1箇所

**質問** 今後のライスセンター建設の村の意向は、集落営農組織単位に建てたい考えのよう

だ。しかし、農家等は1箇所  
○その他の質問事項  
・豪雪除排雪対策について



佐々木村長

(文責は質問議員)

# 積年の活動が実る

## 全国市町村議会議長会表彰



表彰を受ける富田議長

2月24日、秋田県町村会館で舉行された自治功労者表彰式で、本村議会議長が全国市町村議会議長会より表彰されました。

全員協議会の機能強化や災害対策、議会改革の特別委員会設置など議会活動の活性化により地域の振興発展や福祉向上に寄与した功績が認められたものですが、長年の議会活動の積み重ねが表彰につながり、昭和57年以來の表彰となりました。

# 2名の議員が表彰される

3月29日、山村開発センターで平成23年度東成瀬村功労者等表彰式が舉行され、本議会より2名の議員が表彰されました。

功労賞 自治功労 鈴木 秋雄 議員

※議員として5期以上

スポーツ賞 栄光賞 佐々木 正利 議員

※第16回パークゴルフ東北交流大会 男子の部 優勝

# なるせの教育を研修

## 議会全員協議会

3月15日、定例会閉会後に防災情報センターで「なるせの教育」をテーマとした研修を行うため、議会全員協議会を開催しました。鶴飼教育長を講師として、村の教育方針や環境、地域との関わり合い、村外との比較について、実際に視察を受け入れた時に使用している資料をもとに説明が行われました。



視察の受入を再現した研修

# 通年議会の導入を目指す

## 議会改革委員会

4月5日、第5回目の議会改革委員会が開催され、当面のテーマとしていた「通年議会」導入の可否について協議を行い、導入を可とすべき結論に至りました。今後、村当局と導入へ向けて、課題解決などの協議を進め、9月定例会を目的に議会として最終的な判断を下します。

### これまでの経緯

○導入している議会への視察  
宮城県蔵王町議会

平成22年11月30日実施

岩手県紫波町議会

平成23年8月5日実施

### ○委員会協議

第1回（平成23年11月9日）

・課題の整理など

第2回（平成23年12月22日）

・課題解決のスケジュール

第3回（平成24年1月12日）

・疑問点・問題点

第4回（平成24年2月21日）

・施行市町村の状況など

第5回（平成24年4月5日）

・通年議会導入の可否



# 豪雪

対策は万全か

村道滝ノ沢平良線の雪崩危険箇所

## 災害対策特別委員会が村内を視察



村当局へ提言書を提出

2月23日、災害対策特別委員会の調査活動として、今冬の豪雪の状況を把握するため、村道の除排雪を担当する課長と職員を伴い、村内を縦断する視察を行いました。また、空き家対策等の条例施行に伴い、空き家の状況も確認しました。調査終了後には委員で議論を交わし、公共施設や滝ノ沢地区の国道の除排雪に対する要望や意見をまとめ、3月2日に村当局へ提言しました。



役場庁舎では除雪機で雪下ろし



滝ノ沢地区国道と空き家を視察



誠実な印象で、コンちゃんには愛情が詰まっていた

# この人に聞きたい

## かほ Kahō 突撃

いんたびゅう

今回は、平成19～20年度に東成瀬小学校の教頭として勤務され、4月から同校の校長に着任された近野良浩氏にインタビューしてみました。

かほ ご出身、ご家族、年齢を。

近野 湯沢市(旧稲川町)です。妻と母親と私の3人です。(子どもたちは独立)51歳で、もうすぐ52歳になります。

かほ エー若うい！エリートなんです。自分の性格を簡単に表現すると・・・

近野 エリートでもなんでもありません。血液型がO型で、おっとり型ですが、妙なところにこだわることもあって双子座気質？二重人格？かな。

かほ 着任前の職場は。

近野 南教育事務所です。

かほ 指導主事？ですか。

近野 そうです。

かほ 指導主事が来るから変なこと言わないよ！って学校の時よく言われました。(笑)入学式で披露したキャラクターが話題になっていますが。

近野 話題にするつもりはなかったのですが、(笑)低学年の子どもたちに、このコンちゃんを通して話しかけると素直に

聞いてもらえます。ただ、入学式に持ち込んだのはどうだったか。(笑)

かほ コンちゃん？近野のコンですか。

近野 いえ、娘が幼い頃にかわいがっていたものを妻からいい香りのする洗剤で洗ってしまいました。キツネなのでコンコンのコンです。

かほ なるほど・・・東成瀬村の教育を本音でズバリ！

近野 学力の面では良好だけど、点数にこだわらない、優しい心や体力づくりなど「知・徳・体」のバランスのとれた教育だと思っています。

かほ 最後に新校長としての決意を。

近野 全村の子どもたちがすべて集まる小学校であり、その責任の重さを感じます。点数だけでなく、これから予想される厳しい時代に立ち向かえる素地をつけてあげたい。

かほ 感動的な決意ですね。今日は、お忙しい中、ありがとうございました。

## 暫時休憩

ざんじ ぎゅうけい

▼確か、地震、放射線被害の対応が遅々として進まないことに「行動は人格だ」と言った方がいた。亡くなられた方、家が流され止むなく仮設住宅に住む方の心情を考えると含蓄のある言及だ。

▼昨年8月24日、わが災害対策特別委が岩手県大船渡市に災害ボランティアしながら、その実態を肌で感じた。スコップ、ツルハシを使い、汗しての作業は体にこたえたが、少しでも支援と奉仕ができたことに心地よい疲労感と満足感を味わった。

▼昨今、T P P、消費税増税、普天間飛行場など、なんだか日本全体が立ち止まったままで前途が開けない。国政に携わる方々が崇高な人格をもって国をリードし、政局よりも政策を優先した政治こそが、国民が願う姿ではなからうか。

(委員・佐々木健夫)

東成瀬村  
議会だより

No.166

発行 東成瀬村議会  
編集 東成瀬村議会広報対策特別委員会  
〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1  
TEL 0182(47)3411 FAX 0182(47)3117 e-mail gikai@vill.higashinaruse.akita.jp  
印刷/株式会社増田印刷所